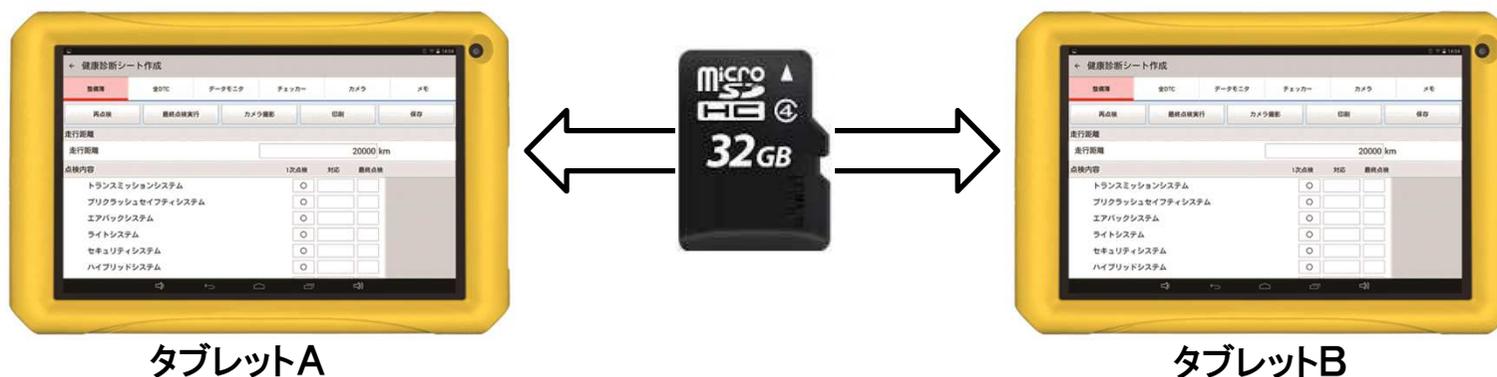

日立ダイアグモニターHDM-8000 取扱説明書 「タブレット間のデータ共有編」

2016年3月24日版

はじめに

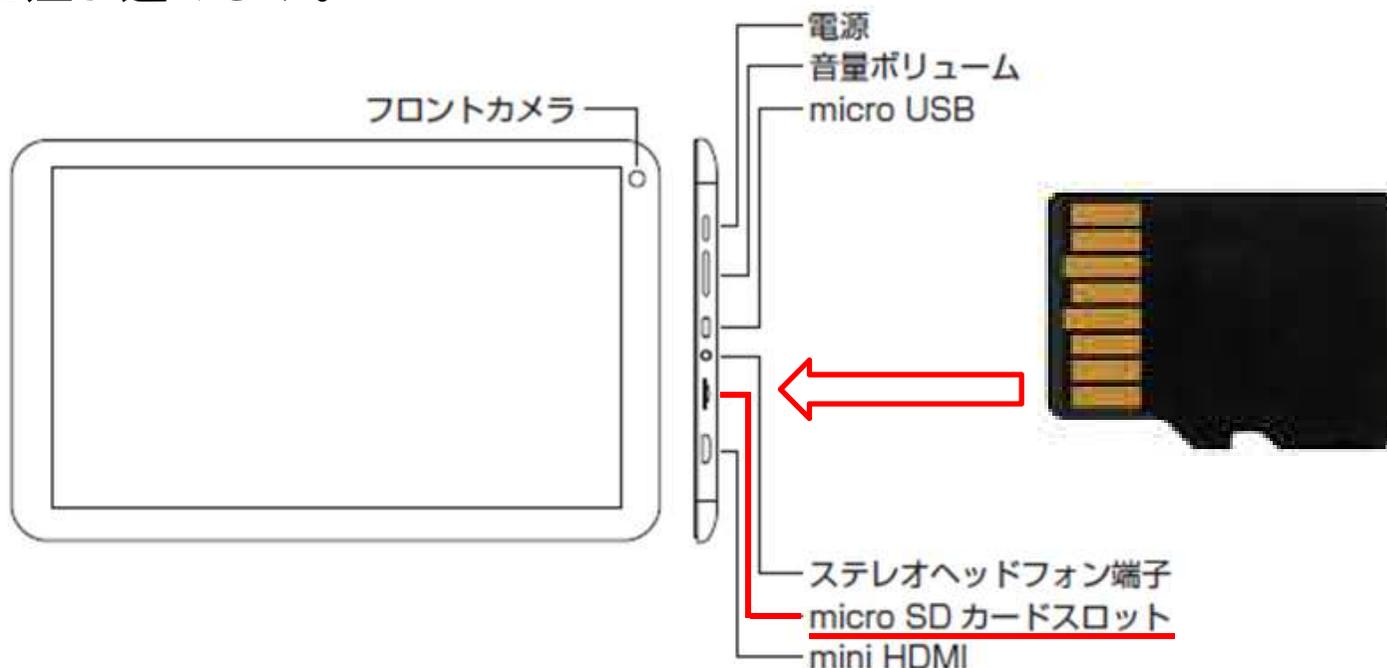
日立ダイアグモニタHDM-8000はタブレット内部に「健康診断」や「故障診断」で取得したデータ(健康診断シート、故障コード表示、データモニタ等)を保存します。これらの保存データは市販のマイクロSDカードにコピーし、このSDカードを別のタブレットに差し込むことで、タブレット同士で以下の様な保存データの共有化を行うことが可能です。手順の詳細は次ページ以降をご参照下さい。



- ①タブレットAに保存した「**Aさんのカローラの健康診断シート**」も含む、全ての保存データをSDカードにコピーしてタブレットBに差し込む。
- ②タブレットBには元々保存していたデータに加えて、タブレットAのデータが保存される。(タブレットBの保存データ+タブレットAの保存データ)
- ③タブレットBで再度在庫した「**Aさんのカローラ**」の「健康診断」を行ったので、新しい「**Aさんのカローラの健康診断シート(最新)**」がタブレットBに保存される。
- ④タブレットBの保存データをマイクロSDカードにコピーして、タブレットAに差し込めば、タブレットAに「**Aさんのカローラの健康診断シート(最新)**」が追加保存される。

手順1.micro(マイクロ)SDカードの差し込み

- (1)HDM-8000のタブレットの電源を入れて下さい。
- (2)HDM-8000のタブレット側の「micro SDカードスロット」にマイクロSDカードを差し込みます。

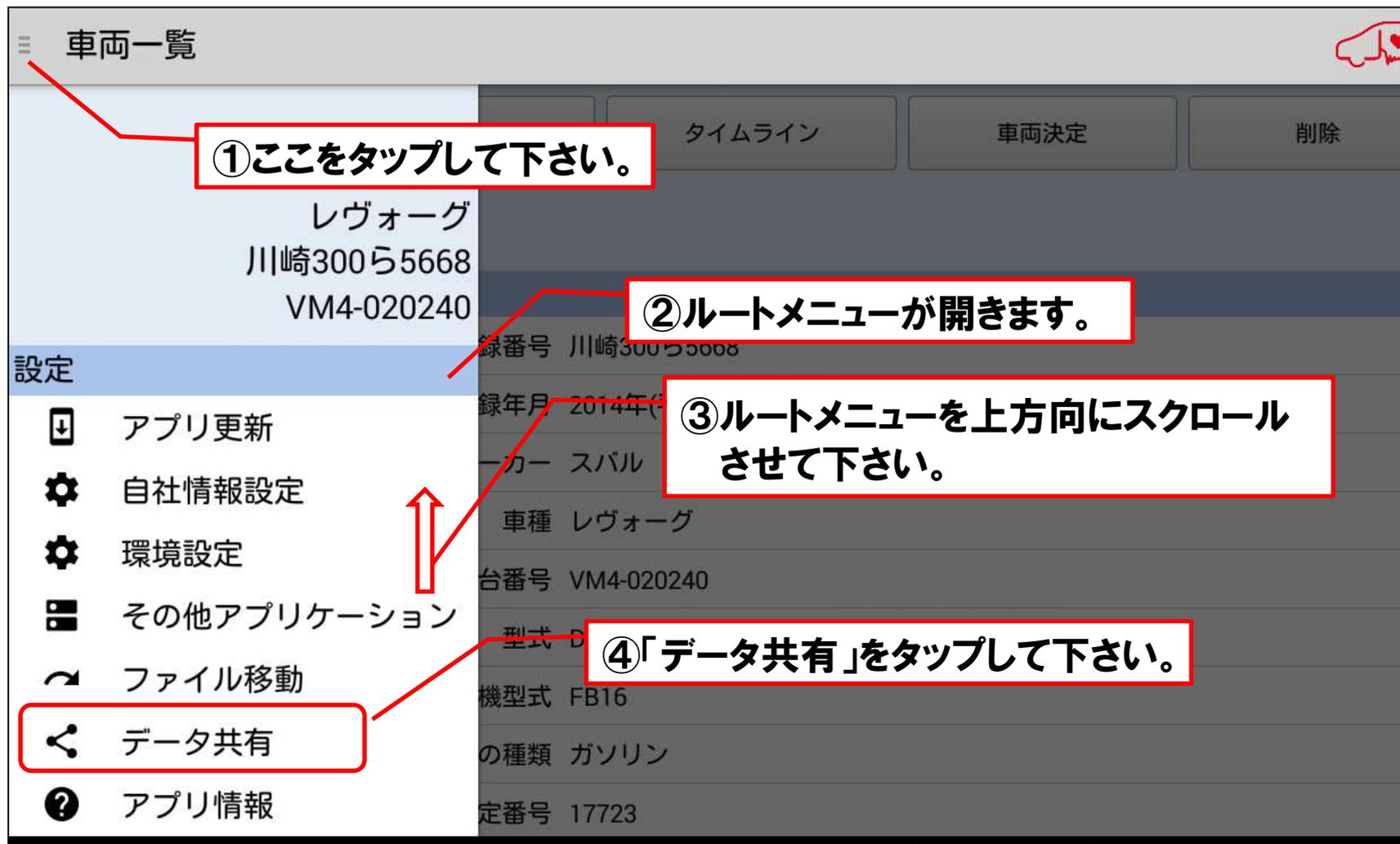


- (3)タブレットの画面の左上に「SDカードの準備中」が数秒間表示されます。



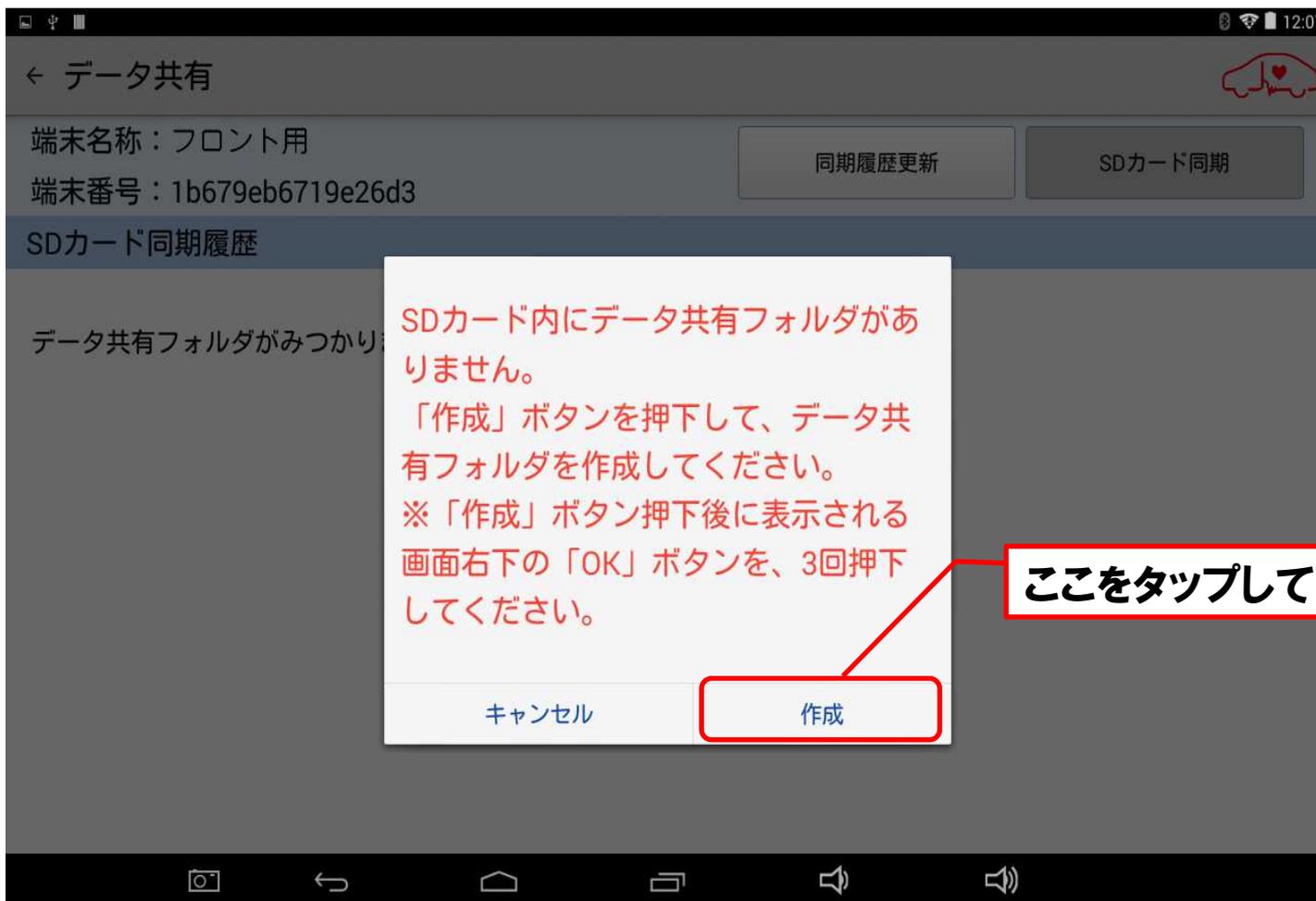
手順2.データ共有(SDカードへの保存データ書き込み)

(1)ルートメニューを表示させて「データ共有」をタップして下さい。



手順2.データ共有(SDカードへの保存データ書き込み)

(2)差し込まれたSDカード内にデータ共有フォルダが無い場合は以下の画面が表示されます。画面上の「作成」をタップして下さい。(データ共有フォルダが作成されたSDカードが差し込まれた場合は(6)の画面が表示されます。)



手順2.データ共有(SDカードへの保存データ書き込み)

(3)下記のような画面が3回表示されますので、それぞれの画面の下部に表示される【OK】ボタンをタップしてください。



手順2.データ共有(SDカードへの保存データ書き込み)

(4)以下の画面が表示されたら【SDカード同期】ボタンをタップしてください。



手順2.データ共有(SDカードへの保存データ書き込み)

(5)「同期処理実行中(タブレットからSDカードへの保存データの転送と、SDカード内の保存データとタブレット内の保存データの同期)」が表示されます。元の画面に戻れば同期処理は完了です。

尚、同期するデータが無い場合(SDカードとタブレットのデータが同一)は「SDカードのデータと本タブレットのデータは既に同期済みです」が表示されます。



バッテリー残量が少ない時はACアダプタで充電を行いながら同期処理を実行して下さい。

手順2.データ共有(補足)

複数のタブレットで同じお客様情報や車両情報の変更(例:2台のタブレットで同一の車両の健康診断を実施した)等を実施してデータの競合が発生した場合、下記のような画面が表示されます。この場合は状況に応じて「SDカード優先」か「本タブレット優先」のいずれかを選んで、最後に【登録】ボタンをタップしてください。

競合データ一覧	SDカード優先	本タブレット優先
お客様名 日立 太郎	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
登録番号/車台番号 川崎123さ1234	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

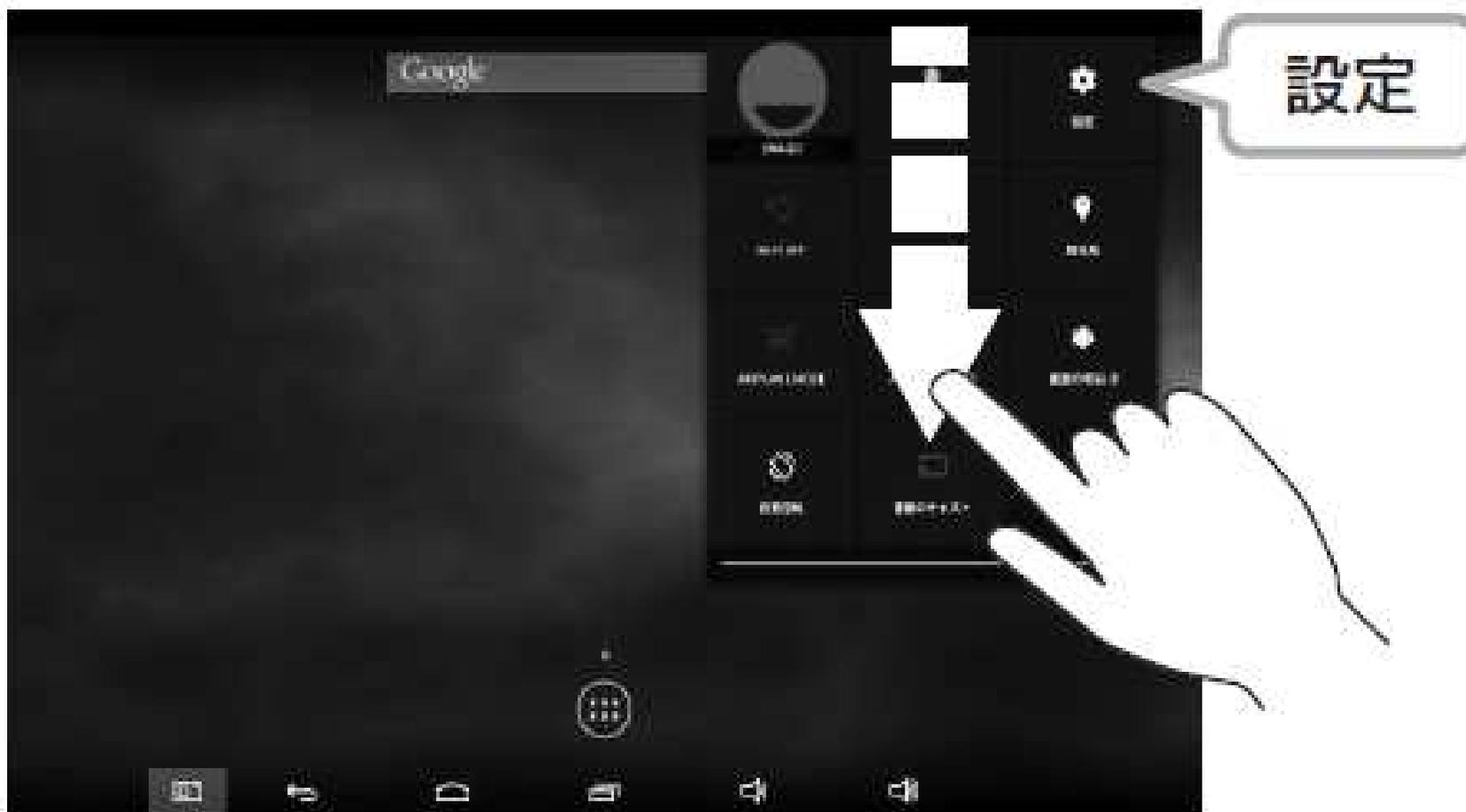
SDカードのデータを正として、タブレットのデータにSDカードのデータが上書きされます。

タブレットのデータを正として、SDカードのデータにタブレットのデータが上書きされます。

手順3.SDカードの取外し

マイクロSDカード内のデータ破損防止の為、本手順は必ず実行して下さい。本手順を実行してからマイクロSDカードを取り外して下さい。

- (1)タブレット画面の右上から下方方向にスワイプして表示されるメニューから【設定】をタップしてください。



手順3.SDカードの取外し

マイクロSDカード内のデータ破損防止の為、本手順は必ず実行して下さい。本手順を実行してからマイクロSDカードを取り外して下さい。

- (2)設定を起動後、画面右の【ストレージ】を選択し、【SDカード】の【SDカードのマウント解除】を選択してください。「SDカードのマウントを解除しますか?」の確認画面が表示されますので【OK】をタップしてください。



手順3.SDカードの取外し

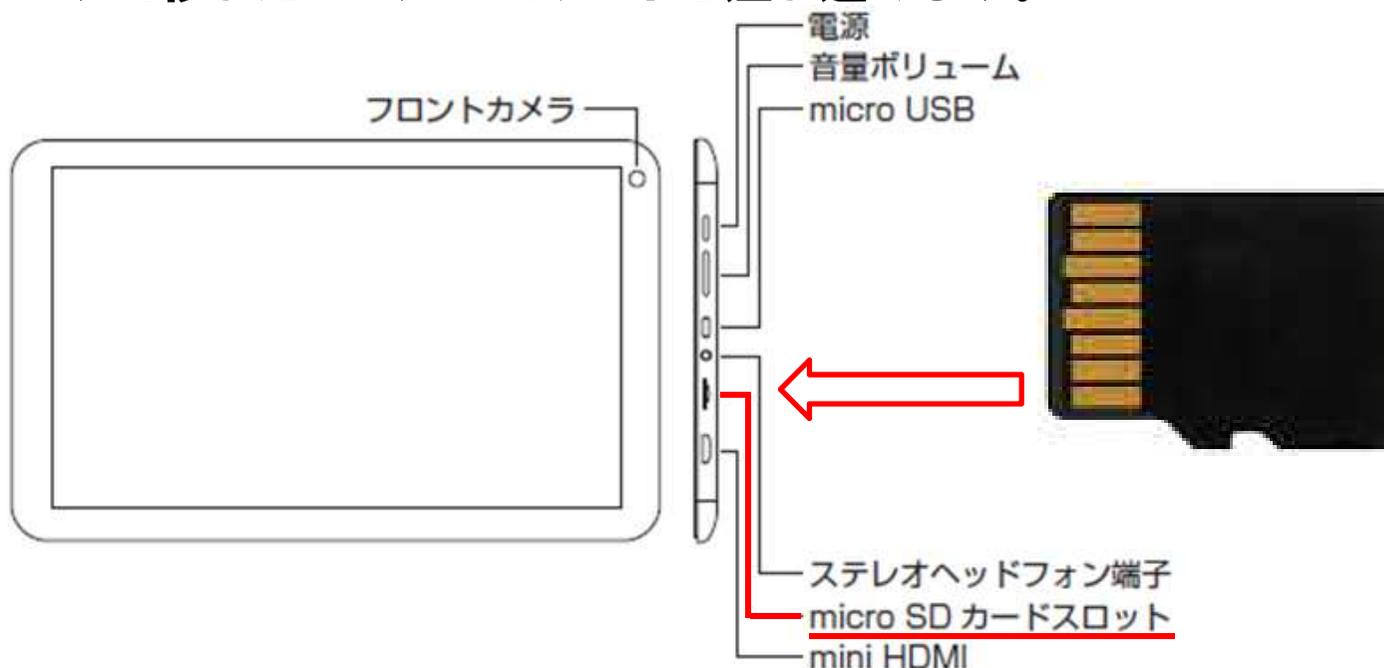
マイクロSDカード内のデータ破損防止の為、本手順は必ず実行して下さい。本手順を実行してからマイクロSDカードを取り外して下さい。

- (3)表示が【SDカードのマウント解除】から【SDカードをマウント】に切り替わったことを確認したら、マイクロSDカードをタブレットから引き抜いて下さい(一旦、マイクロSDカードを中に押し込むと、カード本体の一部が外部に押し出されます。)

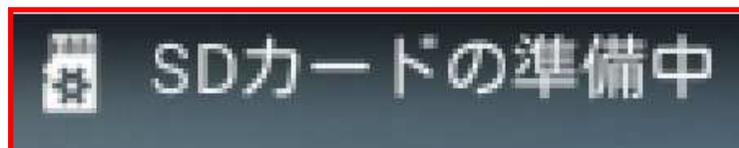


手順4.別のタブレットとの保存データ同期

- (1)保存データを共有したいHDM-8000のタブレットの電源を入れて下さい。
- (2)HDM-8000のタブレット側の「micro SDカードスロット」に手順1～3でデータを移したマイクロSDカードを差し込みます。



- (3)タブレットの画面の左上に「SDカードの準備中」が数秒間表示されます。



手順4.別のタブレットとの保存データの共有

- (3)データを共有させたい別のタブレットで手順2の操作を行って、SDカードからタブレットへの保存データの同期を行って下さい。
- (4)保存データの同期が完了し、マイクロSDカードをタブレットから取り外す時は、手順3を実行して下さい。

【補足】

2台以上のタブレットを所有されており、全てタブレットで同一のデータ共有を行いたい場合は、全てのタブレットに対して手順1～4を2回実行して下さい。

No.	データ共有実行タブレット(回数)	共有結果(実行後のタブレットとSDカードの状態)
①	タブレットA (1回目)	タブレットAのデータ
②	タブレットB (1回目)	タブレットA+タブレットBのデータ
③	タブレットC (1回目)	タブレットA+タブレットB+タブレットCのデータ
④	タブレットA (2回目)	タブレットA+タブレットB+タブレットCのデータ
⑤	タブレットB (2回目)	タブレットA+タブレットB+タブレットCのデータ
⑥	タブレットC (2回目)	タブレットA+タブレットB+タブレットCのデータ

四角に囲まれたデータがデータ共有によって新たに実行中のタブレットにコピーされるデータです。すべてのタブレットについてデータ共有を2回実施することで、すべてのタブレットのデータが「タブレットA+タブレットB+タブレットCのデータ」になります。